

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TDB207	ITビジネス演習Ⅲ	
科目名（コード）	TDB207	ITビジネス演習Ⅲ	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2年生
対象コース	DB2	単位数	1単位30
授業担当者	伊藤 玲	時間数	
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間	春期
実務者教員	いいえ	履修区分	実習
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	本講義は、演習形式として、企業経営者や業界関係者を招いて、業界知識を取得と同時に、実際に与えられた課題に取り組み、問題整理・分析、解決策の検討、プレゼン資料作成、発表を行う。 これをもとに、授業の後半では、卒業制作の準備として、グループ形式で制作準備を行っていく。 第1回でOTの後、グループ作りを行い、各チームで作業を始めていく。
全体の内容と概要	業界知識を理解し、課題について、解決案・提案を作成し、発表できるようにする（後期がメインであるが、前期はアウトライン・概要作成とする）。
授業時間外の学修	授業は演習形式であるが、企業関係者を招いて、授業を行う。 ・新井美佐雄 税理士（後期もある） 上記以外に、業界関係者を招いて、業界や企業運営についての授業を実施予定である。
履修上の注意事項等	パソコンの使い方や、問題解決の流れについて、他の授業で行う。グループにて、演習・課題取り組みをするので、就職活動（公欠）も含めて、できるだけ休まずに参加すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協同性・主体的な表現力（市点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、グループ作り 問題解決ための流れ、ソリューションについて
2	ビジネスでの告知・表現について、POPを知り実際に作ってみる。	①リテールを軸にして、オペレーション理解 ②POP広告を使って、プレゼンテーションを行う
3	商品に付加価値をつけるものとしての「包装」技術を理解し、実習してみる。	①包装の意義と目的 ②包装の種類と方法 ③紐（ひも）、リボンの意味、作り方 ④和式進物
4	店舗のディスプレイの目的と役割を学んで、シミュレーションしてみる。	①ディスプレイの原則 ②ディスプレイの基本パターン ③事例研究：ファッション業界・アパレル
5	リテールマーケティングの基本を理解し、立地分析ができるようにする。	①マーケティングの基本知識の確認 ②リテールマーケティング ③4P理論
6	4P理論を使って、いくつかの店舗分析を行う。	池袋にあるいくつかの店舗を選び、4P理論（マッカーシー）による分析を行う。
7	顧客満足とは何か学び、サービスとホスピタリティを理解する。	①顧客志向とは何か ②顧客維持政策 ③顧客を増やすための戦略、リピーターを増やす戦略を考える
8	実際の店舗立地を想定した場合に知っておくべき商圈、立地、出店方法を理解する。	①商圈の考え方 ②立地の考え方 ③店舗設計＋売り場作り
9	出店による店舗分析を行う	池袋内の店舗として、①コンビニ、②アパレル、③その他について、商圈、立地、店舗分析を行う。
10	リージョナルプロモーションと店舗について、理解し、出店準備を理解する。	①3P(PULL、PUSH、PUT) 戦略を知る ②おもてなし ③インバウンド
11	演習として、POP等を活用してポスター作成を行う。	テーマとして「〇〇旅行プラン」を考えて発表する（場所、移動手段、価格、プレミアム）。
12	演習として、店舗設計を行う。	グループにて、商品・サービスを決めて、店舗を決め、その設計を行い、発表する。
13	発表資料作成	課題についての発表資料作成
14	期末試験	クラス内にて、プレゼンテーションにて発表する。
15	プレゼン資料最終作成	プレゼンテーションで使用了資料の最終版作成にて提出物に仕上げる

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	オリジナルプリント教材をデータ配布する。できるだけ電子データにて行っていく予定である。
参考文献・資料等	授業内容により、その都度紹介する。
備考	授業等で参考になる本やHPを参考して、資料作成に取り込んでいく。 この授業は、3講義の1つであり、うち1回をプレゼンテーション制作の授業とする。